

学校運営協議会の設置に関する評価票

(設置校自己評価)

目黒区立 鷹番小学校長

1 設置校についての成果と課題・改善策

(1) 設置の目的(要綱第2条第2項関係)

「成果」

- ・学校運営協議会設置の目的である「学校運営に保護者や区民が権限と責任をもって関わることで、保護者・区民等の学校教育への参画意識を高めるとともに、コミュニケーションを活発にしながら一層開かれた学校運営を進めていく」ということに関して、保護者・地域住民に対し、学校の教育活動の説明責任と同時に結果責任についても明確に報告できる機会を充実させることができ、学校経営や運営に対して、保護者・地域住民等の参画を得ながら、改善を図っていくことができた。
- ・一番大きな成果として、本校では、ここ数年来、複数の学級や学年の荒れが顕在化してきており、落ち着いた学校づくりが急務であった。学校運営協議会のお陰で、徐々に学校全体が落ち着きを取り戻し、円滑な学校経営・学校運営を進めることができつつある。
- ・全教育活動をとおして、人権尊重教育を推進し、「自分を大切にするとともに、相手を大切にす態度」の育成に努めることができた。特に、「あいさつ、言葉遣い、話を聞く態度」の育成に重点的に取り組むことができた。
- ・特別支援教育の充実を図り、配慮を要する子供の対応のために、リソースルーム(スマイルルーム)を設置し、一人一人の教育ニーズに応じたきめ細かい指導を工夫することができた。その結果、一人一人が、課題をもって、学習を進めることができるようになった。
- ・地域人材の活用の一例として、地域の方に、「心の相談員」として、子供や保護者に寄り添い、支援していただいた。
- ・規範意識を高め、見通しをもつ行動することができるよう、チャイムを設定した。
- ・特色ある学校運営として、「宝島図書館構想」「ピオトープ改修計画」「夢プランたかばん」など、学校運営協議会の力添えで、充実させることができています。
- ・地域社会への貢献活動の推進、地域主催行事への教職員の参加など、学校・地域間の人的交流を促進することができた。
- ・学校としての自己刷新、学校の教育情報の公開、透明性のある予算編成と執行、学校・地域間の人的交流等を柱として、学校運営協議会との連携のもと、信頼感のある開かれた学校づくりを進めることができた。

「課題・改善策」

- ・会議の日程、時間設定が難しい。(委員それぞれの都合を考慮)
- ・学校運営協議会についての情報発信 HP の活用、協議会だより等

(2) 校長の情報提供等(要綱第5条関係)

「成果」

- ・毎月の協議会で、「学校の現状と課題」について報告した。特に、ありのままの姿を包み隠さずに報告し、対応策についての承認、意見を伺い、円滑な運営を進めることができた。
- ・情報提供については、経年変化や以前と比較できるよう情報提供に心がけた。

「課題・改善策」

- ・経営方針でかかげた内容について、それぞれの進捗状況と今後の見通しについて情報提供する必要がある。
- ・具体的に、何がどのように変わってきているのか、また、まだ変わっていないのかを明確にし、情報提供する必要がある。

2 学校運営協議会についての成果と課題・改善策

(1) 基本的な方針の承認等(規則第8条関係)

「成果」

- ・教育課程の編成、経営方針、学校組織の編成、予算編成・執行状況、学校施設の管理、学校評価について、学校の方針・状況を伝え、審議していただいた。

(2) 運営及び教職員の任用に関する意見の申し出(規則第9条関係)

「課題・改善策」

- ・「体育・健康教育」に興味・関心の高い教員を公募したが、学級数減少もあり、公募による教員は配置されなかった。教員定数にプラスした加配が必要である。

(3) 意見等の把握及び情報の提供(規則第11条・要綱第6条関係)

「成果」

- ・運営協議会の会長を中心として、保護者や地域住民の意見、要望等の情報収集をしていたが、毎月の会議の中で、学校に情報提供していただいた。学校運営上、とても役に立った。
- ・教職員の接遇、指導に関すること、子供や保護者の状況等について把握することができた。

3 教育委員会の支援についての成果と課題・改善策

(1) 教育委員会の支援(要綱第7条関係)

「成果」

- ・学校の実情に応じ、また学校運営協議会の要望に応じて、指導・助言、予算措置等支援していただいた。

「課題・改善策」

- ・目黒区独自の学校運営協議会制度の活用について、目黒区教育委員会としての理念やビジョンを明確にする必要がある。